



皮革講座で名刺作り

柏を愛する人のための
学びの場

まちカシは入学試験も卒業証書もなく、年齢制限もない。参加したければインターネットで「柏まちなかカレッジ」を検索して、講座（資料代など500円）ごとにメールで申し込む。

毎月3回ほど柏市内で開かれるが、自分が話したければ講師を希望すればよい。いわば教室のない市民大学である。

柏に縁のある人から
楽しく学ぶ

講座は平日の午後7時から午後9時に喫茶店や洋服店、柏市民活動センターなどで開かれる。

テーマも多彩で、駅前商店街のバードウォッチングでは、岩場に生息するハヤブサにも出会った。クラスががみなを愛するの人間のアナーが悪いからだ講師の科学ジャーナリストから学ぶ。

ジュエリー作家に皮革で

名刺や財布作りを教えるもらう。民芸講座では、講師に名乗り出た若者が自分の店を紹介すると、参加者がそれぞれ話を始め、対話の輪が広がった。

山下学長自身も歴史の元高校教諭で、月1回「歴史塾」を開いている。落語を聞きながら「江戸時代の働き方を教えた。『有馬小便』という落語からは、資本がなくても本人のアイデアだけで起業できる気軽さを学んだ。

本を紹介する講座では、これが発展して古本市を開くまでになった。「食のフューチャーセンター柏」も対話ワークショップだけに終わらない実現力のある地

域密着型プロジェクトとして立ち上がった。

まちカシが
なくなるのが好き!

「まちカシ全国サミット」を来年に柏市で開くのが山下学長の目標だ。そして2030年には、柏市の街そのものが学びの場となり、対話だけでなく活動が広がって、まちカシ自体は自然消滅することが夢だという。(我)

※問い合わせ
04(7770)0668

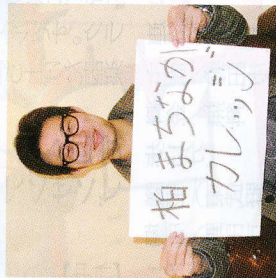
中

「まちカシ」で学ぼう 街中が教室、あなたも先生

Special
Vol.2
突破
柏400号

柏まちなかカレッジ

校舎はないが、お店や公園、ストリートなど街中をカレッジと見立てて講座を開き、教え学ぶ「柏まちなかカレッジ」(通称まちカシ、山下洋輔学長)を、柏市の若者たちが立ち上げ、4年目を迎えた。



山下洋輔学長



日本ABC協会加盟誌
総発行部数 1,967,269部

地域新聞
柏西版

2013年3月8日号
Vol.402

【発行】株式会社地域新聞社 柏支社
〒277-0005 千葉県柏市柏4-6-3 新栄ビル4F
TEL.04-7160-2022 / FAX.04-7160-2030
毎週木・金曜日配布 購読料無料 手配り

ちいさなこえが
みえるサイト

互いこみ 検索

地域新聞に関するご意見・ご要望・お問い合わせは
読者サポート ☎0120-152-337まで
受付/平日10:00~18:00 ※土日祝日は休み
✉kashiwa-nishi@chikinews.co.jp

3/8 今日は何の日?

国際女性デー

1904(明治37)年のこの日、米国、ニューヨークで女性労働者が婦人参政権を求める集会が開かれ、女性の平等な社会参加を求める運動の起源となりました。この日は女性の権利と平等のために、世界中で式典やイベントなど、さまざまな行動が展開されると同時に、権利獲得に向けたこれまでの歩みを祝うために、女性に対して贈り物をする地域もあります。